

奥野製薬工業

米国・EUに適合

日持向上剤と膨張剤上市

奥野製薬工業は、米国・EU市場の法規制に適合した、日持向上剤およびベーキングパウダーの提供を開始した。いずれも、国内製造の輸出向け食品への使用を想定している。同社ではこれまで

も個別には米国・EU向けの製剤を提供してきたが、改めて製品としてラインアップすることで、より多くの食品に対する輸出支援が可能となる。日持向上剤製剤「トッブキープEST」は、酢

酸ナトリウムを主体とした設計で、大腸菌、乳酸菌、カビなど幅広い微生物に対して制菌効果を持つ。また、マスキング素材の配合によって酸味を低減しており、添加した食品の風味に対する影響が少ない点が使いやすいと好評だ。

同品は菓子・パン類のカビ対策に加え、冷凍流通される麺類・惣菜類の解凍後における微生物対策としても活用できる。米国・EU以外では、オ

セアニアおよび東南アジアの一部地域での使用を想定している。

一方、「トッブふくらし粉E」シリーズは、焼き菓子などに使用できるベーキングパウダー。用途に合わせて、速効性の「E3」、持続性の「E5」、遅効性の「E8」の3タイプを取り揃える。米国・EU以外ではオセアニアおよび東南アジアの一部地域での使用を想定している。

また、同社は国内メーカー向けの提案にとどまらず、海外向けビジネスの拡大にも注力する方針だ。特に東南アジア市場向けには、ハラル認証を取得した製品群を軸に展開を加速する。